

市町村名 石垣市

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (4- 就業支援マッチング・人材育成事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(10)-ウ), 職業能力の開発, 担当部課名 (企画部商工振興課), 事業実施(予定)年度 (平成24-26年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (1 (7))

事業内容 特産品の振興及び工芸産業の振興を図るため人材育成事業を実施する。具体的には、セミナーや講習会等を実施する。就業支援(繰越分)、人材育成(今年度分)。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 24年度(繰越), 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: 予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース), 予算の状況 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: H25活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度(4-), 27年度(4-). Rows include: 達成状況, 特産品開発セミナーの開催 (目標, 実績), やきもの講座の開催 (目標, 実績), 達成状況説明

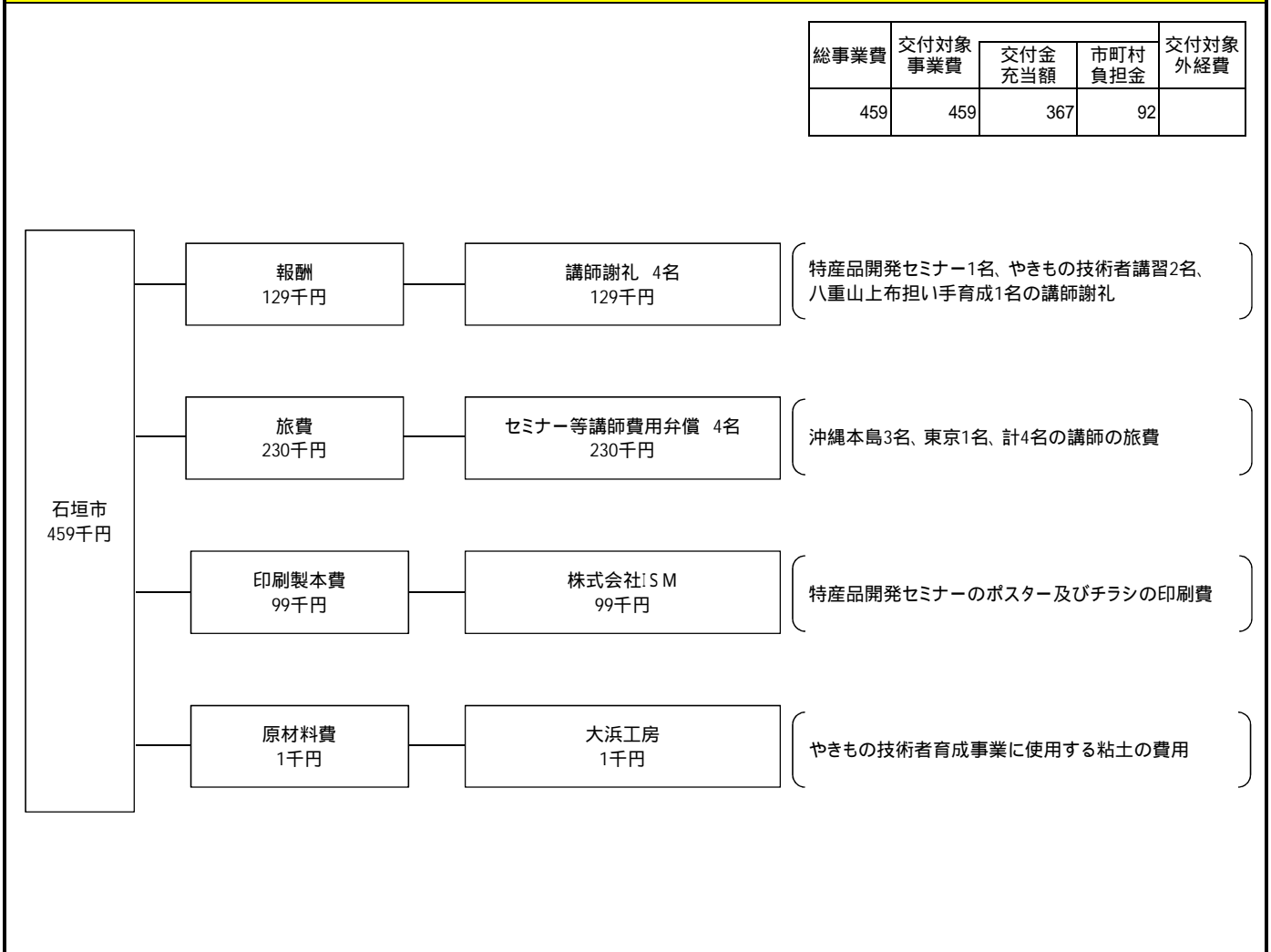
Table with 7 columns: H25成果目標(指標), 基準値(23年度), 24年度, 25年度, 26年度(4-), 目標値(27年度). Rows include: 特産品開発セミナー企画シートの作成に至った参加者数, やきもの講座八重山焼の技法を学んだ参加者, 八重山上布技術者育成講習服地作成に至った参加者, [参考指標] セミナー受講後、新商品開発等を行った事業者数, [参考指標] やきもの祭り出展事業者数, 進捗状況説明

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>「やきもの技術者育成事業」は、事業者間の技術にばらつきがあり、石垣島の優良な坏土を使用したやきものを名産に押し上げるために、技術のボトムアップが必要である。得意分野の異なる講師による講習会が実施し、市内で作陶に従事する事業者の技術向上及び生産意欲向上につなげられた。平成26年度には技術向上のセミナーに加え、知見を広げるため他地域の窯元や美術大学、工業技術センターにて研修を行った。</p> <p>「八重山上布」については3名の受講生が染め、織り、等一連のプロセスの手ほどきを受け最終的には服地の完成及び販売にこぎつけることができた。平成26年度には技術者確保のための苧麻糸手績講習を実施した。しかしながら、慢性的な人材不足の解決には至っていない。</p> <p>「特産品」については、平成26年度には本市の亜熱帯気候を利用した発酵分野についてのセミナーに加え、海外への展開に関する事項を中心にセミナーを実施した。行政主導の特産品開発ではなく特産品づくりに寄与できる人材の育成を目的としており、製造や物流の基本、ノウハウを学ぶ機会を作ることが必要である。</p>	<p>「やきもの」については、引き続きこれまでのような一律に行うセミナーに加えてレベル別講習の実施などを検討していきたい。</p> <p>「八重山上布」については、若年層向けの周知活動、テーマを絞ったセミナーによる技術者の確保が必要となるため、継続的に事業実施をしていく。技術者の不足は原材料の不足に直結するため、平成26年度以降は上布の原材料となる苧麻糸の手績講習会を実施したい。</p> <p>「特産品」については、民間事業者が独自で商品開発できるよう知識や技術を身に付けるためのセミナーを実施しており継続した実施が必要であるが、平成27年度以降は、島の農水産物を使用した特産品開発も並行して実施していきたい。</p>

今後の取り組み方針

平成26年度は同事業の最終年度となっているが、この3つの分野においては継続的な支援実施が必要となることから、別事業「ものづくり・マーケティング総合支援事業」の一環として平成27年度以降も引き続き人材育成事業を実施していきたいと考えている。特に特産品に関してはこれまでの人材育成に加えて、島産パインアップルの一次加工品(ペースト)の開発を実施し、その販路開拓と共にパインアップルのブランディングを推進していきたい。また、石垣島の温暖な亜熱帯気候にマッチした発酵技術を活用した新特産品(酢や醤油などの調味料)の開発にも力を入れていく。第一弾としては、黒麹菌を活用した商品を想定している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・支出先については、各分野において予定した内容の講習が実施できるようそれぞれの専門家に依頼することができ、講習内容も参加者から評価をいただけたので妥当であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・(依頼者の住所や講習回数等に基づく)当初の見積額が実際に要した金額と相違があったことから、今後はより適正な見積もりをしなければならない。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	